

データは、今後も分析を続けることになっている。

また、市販誌等に若干のエッセイ・書評を書いた：
「知恵と知能の発達」(教育と医学, 1991, 29, 829-834)
；「子育てと人間の発達を考える」(ライフサイエンス,
1992, 19(2), 19-23)；「幼児期の不安」(臨床精神医学,

1992, 21(4), 535-541)；「思春期の行動科学(小児医学,
1992, 25(3), 435-446)；書評「松沢哲郎(著)チンパンジー・マインド 心と認識の世界」(CODER
NEWS LETTER, 1992, 24, 9-12).

(1992年8月14日)

研究経過報告(平成2年9月～平成4年8月)

田 畑 治

1. カウンセリング過程と^{メンタルヘルス}精神保健の研究

〔著書・編著〕

アセスメント面接と行動観察. 安香宏・田中富士夫・福島章編『人格の理解①』(臨床心理学大系全16巻のうち第5巻). 金子書房, 34-53頁, 1991.

ジェンドリンのデモンストレーションⅠ—夢とフォーカシング』(逐語録・担当者のコメント；伊藤義美と共同). 村山正治編『フォーカシング・セミナー』福村出版, 30-43頁, 1991.

心理療法の評価. 岡田康伸・田畑治・東山紘久編『心理療法』(河合隼雄監修, 第3巻, 第5章), 創元社, 263-269頁, 1992.

日本におけるカウンセリングの展開. 氏原寛・東山紘久編『カウンセリング入門』(別冊『発達』13号), ミネルヴァ書房, 39-47頁, 1992.

心の健康と心理療法. 田畑治・蔭山英順編『心の健康を探る』(Introduction to Psychology 第7巻, 第1章), 福村出版, 11-42頁, 1992.

「心の健康」の捉え方——世界と日本の歩み. 田畑治・蔭山英順・小嶋秀夫編. 『現代人の心の健康』名古屋大学出版会, 1-13頁, 1992.

心の専門家とボランティア. 田畑治・蔭山英順・小嶋秀夫編『現代人の心の健康』名古屋大学出版会, 243-259頁, 1992.

〔論文〕

カウンセリングマインドとは何か. 『児童心理』6月号臨時増刊574(第45巻第8号), 特集: 実践講座学校カウンセリング研修, 金子書房, 12-20頁, 1991.

わが国におけるPTSD(心的外傷後のストレス障害)に関する心理臨床学的研究〈序報〉. 名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科, 第38巻, 191-202頁, 1991.

Some Social Issues of Mental Health in Japan. 心理臨床—名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要, 第

7巻, 3-8頁, 1992.

〔口頭発表〕

UCLAのNRCAAMHについて. 第16回コミュニティ心理学シンポジウム. 湯の山温泉, 南山大学・名古屋大学・愛知淑徳大学共催, 1991.

心理治療の場で何が起きているか——クライアント中心療法の立場から』(日本行動療法学会第16回大会, 埼玉大学教育学部)『行動療法研究』第17巻第2号, 6-7頁, 1991.

地域住民に及ぼす自然災害とメンタルヘルス—PTSDの観点から. 第17回コミュニティ心理学シンポジウム. 山口・湯田温泉, 山口大学・山口女子大学共催, 1992.

2. 心理臨床家の養成, 教育・訓練の問題

〔論文〕

カウンセラー養成に果たすミニカウンセリングの役割——養成方法上の問題点をめぐって——1. 臨床分野でカウンセラー養成を行っている立場から. (日本カウンセリング学会第24回大会, 鹿児島女子大学)『カウンセリング研究』第24巻第1号, 82-83頁, 1991.

発達臨床学専攻の発足にあたって〈巻頭言〉. 心理臨床—名古屋大学教育学部心理教育相談室紀要, 第6巻, 1-7頁, 1991.

臨床心理士の基本技術. 9. 倫理的要請について. 『心理臨床学研究』第9巻特別号, 50-51頁, 1991.

臨床心理士. 6つの基本課題. 5. 臨床心理的研究. 『こころの科学』増刊『臨床心理士入門』, 34-37頁, 1992.

全国大学・職域めぐり. I. 全国主要大学めぐり——名古屋大学. 『こころの科学』増刊『臨床心理士入門』70-71頁, 1992.

〔口頭発表他〕

ケースへのコメント: 稲富正治(東洋大学), ある撰

食障害の女性との2年間の面接過程. 日本心理臨床学会第10回大会. 京都大学. 1991.

研修会講師: 不登校児のカウンセリング. 日本カウンセリング学会第25回大会研修会. 広島大学総合科学部. 1992.

研修会講師: カウンセリングの技法を学ぶ—5. 来談者中心カウンセリングの技法. チーム医療. 5-1~5-11頁. 1992.

3. 学生期・青年期心理, 学生相談・グループアプローチ

〔論文他〕

外国の学生相談——特にUCLAの場合. 全国学生相談研究会議編『キャンパス・カウンセリング』(キャンパス・カウンセリング シリーズ1. 『現代のエスプリ』第293号), 98-110頁, 1991.

座談会: 司会「いわゆる重篤な学生への援助」(加藤雄一・村上英治・土川隆史・鶴田和美・森田美弥子出席). 全国学生相談研究会議編『キャンパスでの心理臨床』(キャンパス・カウンセリング シリーズ4. 『現代のエスプリ』第296号), 5-30頁, 1992.

自己発見のための合宿セミナー(人間関係体験セミナー)の報告(1991年度)(伊藤義美・鶴田和美・森田美弥子と共同). 名古屋大学学生相談室紀要, 44-48頁, 1991.

エッセイ: 全国学生相談研究会議の先達を偲ぶ: 倉石精一先生. 全国学生相談研究会議編『キャンパスでの心理臨床』(キャンパス・カウンセリング シリーズ4. 『現代のエスプリ』第296号), 176-178頁, 1992.

エッセイ: シリーズ「出会い」第1回. 「私と映画」名古屋大学学生相談室報, 第22号, 8頁, 1991.

〔口頭発表〕

Student Psychological Services in UCLA. 第24回全国学生相談研究会議東京シンポジウム報告書. 東京農工大学. 36-39頁, 1991.

アメリカのUCLAにおける学生相談. 東海心理学会第40回大会発表論文集. 名古屋女子大学文学部, 57頁, 1991.

4. 教育臨床, 教育的人間関係

「登校拒否の態様別指導方法の在り方に関する研究」平成元・2・3年度文部省科学研究費による研究報告書(総合研究A), 代表者千葉大学教育学部坂本昇一教授に研究分担者として参加. 1992.

5. その他

書評: 水島恵一著『人間学への道——私の探求過程』(人間性心理学大系第10巻)大日本図書, 1989. 『人間性心理山研究』所収, 第8号, 125-126頁, 1990.

辞典項目: 自己一致, 多重人格, 感情移入. 三宅和夫・北尾倫彦・小嶋秀夫編, 『教育心理学小辞典』, 有斐閣, 50, 130, 221頁, 1991.

気になる性格13項目. 『別冊PHP』6月号, 特集子ども気になる性格, 伸ばしたい性格. 29-45頁, 1991.

以上

(平成4年8月31日記)

研 究 報 告

本 城 秀 次

1988年の研究報告を行って以来研究報告を怠っていたので, 今回は1989年から1991年までの研究報告を行います。

この間, 引き続き児童, 青年期の精神医学的問題, とりわけ, 登校拒否, 家庭内暴力の問題について臨床的研究を行ってきました。また, 児童期の抑うつに対しても関心を持ち, 若干の調査研究を共同で行いました。さらに, 乳幼児期の精神医学的問題にも治療的に関与し, かつ, 乳幼児医学・心理学研究会の設立に参画し, 現在事務局を引き受けています。

この間に発表した著書, 論文は以下の通りです。

分担執筆

- 1) 若林慎一郎編: 児童青年精神科——現代社会の病理と臨床——. 金剛出版, 1989.
- 2) 安藤春彦, 山崎晃資編: 小児精神科治療ハンドブック. 南山堂, 1989.
- 3) 蜂矢英彦, 南雲与志郎編: 精神保健実践講座2 精神保健と精神科医療. 中央法規出版, 1989.
- 4) 大原健士郎, 高橋三郎編: 現代の精神医学 改訂第2版. 金原出版, 1990.
- 5) 若林慎一郎編: 保育講座23 精神保健. ミネルヴァ書房, 1990.